

# 図書室だより



京都市立高野中学校  
図書室

平成31年2月号

## 本を楽しもう！

2月に入りました。1月の図書委員会で学級文庫の入れ替えを行いました。各クラスの図書委員さんが選んでくれた本が入っています。

また、今、図書委員会では、「teacher's 本紹介！」を行っています。先生方の紹介する本を聞いて、いろいろな本に、少しでも興味を持つてもらえたたら、うれしいです。

皆さん、本を楽しんでください！

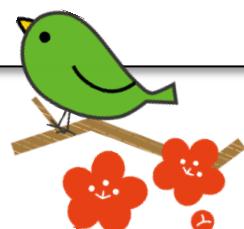
図書委員長

### 図書室の予定

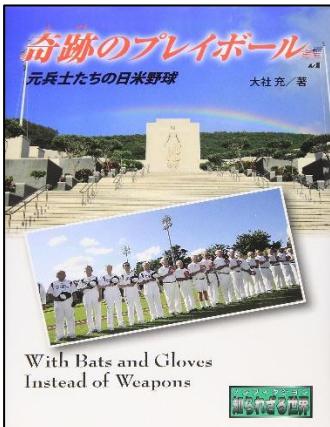
いよいよ学年末が近づきました。新学期も楽しめるように、返却をお願いします。

3年生⇒3月1日(金)までに、本を返してください。

1, 2年生⇒3月8日(金)までに、本を返してください。



## ★2019! 新しい本 おすすめ★



### 奇跡のプレイボール ～元兵士たちの日米野球～

戦後65年を経て、日米の元兵士達が野球をしようと動くプロジェクトの実話。傷つけ、にくみ合った者どうしが、試合など本当にできるのか…。戦争、平和について、スポーツの意味について、とても考えることができる作品です。



### 失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!

「成功にしがみついた、ライト兄弟。考えすぎた、夏目漱石。  
新しすぎて理解されなかった、ピカソ」  
今に名を残すすごい人も、たくさん失敗をしてきました。  
「そうか！失敗しても、いいやん！次がんばろう！」と明るく楽しく思えます。イラストがとてもおもしろく、一気に読める本！



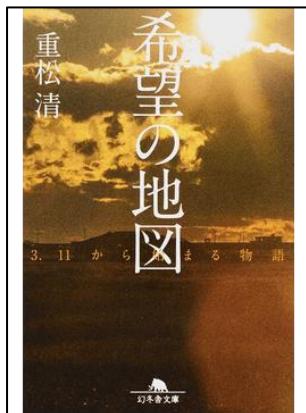
## #名画で学ぶ主婦業

「紙を見てうなだれる女性」、「お菓子であふれる床」…名画や彫刻の中の、この人は、こんなことを言っているのではないか、という「つぶやき」を集めた、ベストセラーの本。クスッと笑えます。この本の筆者による、作品の解説も書かれているので、名画鑑賞の本としても楽しめます。



## 6この点～点字を発明した、ルイ・ブライユのおはなし

「切符売り場、駅の手すり、点字表示を見るたびに、私はあなたのこと思い出します…」(ヘレン・ケラーの言葉)  
目が見えなくても、本が読みたい。文字を読んだり、書いたりしたい。暗号から指でさわって読む文字「点字」を発明した少年ルイ・ブライユの物語。今から200年前、10代の少年が、今も使われる発明をやりとげる！



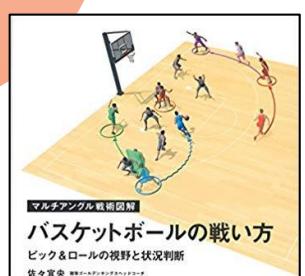
## 希望の地図

### 3・11から始まる物語

震災後の東北の被災地を、ライター（記者）と中学生が巡る。そこで二人は何を目にし、感じなのか。作者の重松さんが実際に被災地を取材して書かれた作品。被災者の方々の生の声が胸を打ちます。

5分後シリーズなど、朝読書にぴったりな本、部活動やふだんの健康に役立つ本も、たくさん入っています。

ぜひ、見に来てください!!



● 図書室では、他にもたくさんの本が、みんなを待っています！ぜひ一度図書室をのぞいてください。この時期おすすめ！の本も並べています。本で、ほっとひといき、つきましょう！

## 図書室でゆっくりしませんか

● 3年生の人たちにとって、2月初めの委員会が、最後の委員会でした。いつもたのもしく1、2年生をリードしてくださいました。今まで、本当にありがとうございました。